

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉智子
		全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	4246 児童クラブ運営事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	02020900 子育て環境の整備												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	030205 民生費・児童福祉費・児童クラブ費											
	事業	010000 児童クラブ運営事業											
事業目的						事業概要・効果							
留守家庭児童に放課後児童健全育成事業を推進するため、児童クラブの運営を行う。						8児童クラブを運営と、3町及び1民間の団体に児童クラブの運営を委託。 スポーツ・文化・交流活動推進事業の実施。 児童クラブの施設維持管理。							

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	登録児童の放課後健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営を実施した。 職員の巡回による、相談・指導を実施した。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
登録児童の放課後健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営を実施した。 職員の巡回による、相談・指導を実施した。	登録児童の放課後健全育成事業を推進するため、安心・安全な児童クラブの運営。 職員の巡回による、相談・指導。

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		12,739	13,205
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	23,291	24,292
	地方債	0	0
	その他	13,426	9,978
一般財源		△23,978	△21,065
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.7
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.5	0.5
人員 コスト	正規職員	4,114.8	4,800.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	588.5	588.5
	計	4,703.3	5,389.1
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		17,442.3	18,594.1

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	23	スポーツ・文化・交流活動推進事業講師謝礼 22,680円
11節 需用費	3,228	消耗品費1,911,627円 燃料費321,959円 食料費14,886円 光熱水費595,947円 修繕料382,859円
13節 委託費	8,599	3町・1民間児童クラブ事業委託料8,599,000円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	80	児童館連絡協議会負担金80,000円
その他	809	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	52	スポーツ・文化・交流活動推進事業講師謝礼 520,000円
11節 需用費	3,611	消耗品費2,025,000円 燃料費356,000円 食料費20,000円 光熱水費750,000円 修繕料460,000円
13節 委託費	8,599	3町・1民間児童クラブ事業委託料 8,599,000円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	120	児童館連絡協議会負担金 80,000円 会議等出席負担金 40,000円
その他	823	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	留守家庭児童に適切な遊び及び生活の場を提供し、放課後の健全育成を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	保護者が安心して就労でき、児童が安全に放課後を過ごすことができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	職員研修及び定期的な職員会議の実施。 児童センター所長、企画員の各児童クラブ巡回による相談・指導の実施。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
安心・安全な放課後児童健全育成事業の継続実施。 職員研修等の実施により、保育の質の向上を図る。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
放課後における児童の健全育成への要請は益々高まっている。 。		留守家庭児童を対象とした放課後の児童への健全育成が図れた。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	